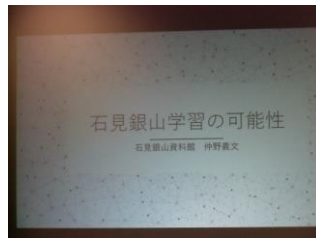


写真



＼市内小中高教職員合同研修会！／

8月18日（水）

大田市教育委員会学校教育課主催の「市内教職員合同研修会」が開催され、26名の教職員が参加しました。

この研修会は、これまで、ふるさと教育推進に寄与するため、市内小中学校に赴任された教職員を対象に、石見銀山遺跡をはじめとした市内の様々な地域資源について知っていただくために開催されてきましたが、昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、実施されませんでした。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、参加者数や研修時間を限定し、開催することとされました。

研修内容は、「石見銀山学習について知ってもらおう」ということで、市内の県立高校2校にもお声がけいただきましたので、小中学校の先生方と連携を図る良い機会ということで、邇摩高校からも参加しました。

冒頭、石見銀山資料館 仲野館長の「石見銀山学習の可能性」と題した講話と小中学校と高校での「石見銀山学習」の取り組み紹介（高校の取り組みは、それぞれ魅力化コーディネーターが行いました。）を拝聴し、その後、4つのグループに分かれて、体験・見学を行いました。

参加された教職員の多くは赴任されたばかりで、初めて石見銀山を訪れた方も多く、石見銀山ガイドの会のガイドによる見学や、「熊谷家」における体験は、非常に有意義だったのではないのでしょうか？

また、小中学校の先生は、高校での「石見銀山学習」が、高校の先生は、小中学校での「石見銀山学習」が、どのような取り組みられているかを知る機会となりました。

今後、小中学校での「石見銀山学習」を踏まえ、高校での「石見銀山学習」が充実するよう、努めていきたいと思えます。

大田市教育魅力化コーディネーター（邇摩高校） 森本

邇摩高 HP はコチラ ⇒ <https://www.nima.ed.jp/>